

浅水管理と夜間灌漑で分けつの発生を促進！ 田ワキ対策を行い、根の健全化を図りましょう！

1 5月31日現在の生育診断圃の生育状況

全般に**平年並**

品種	年次	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)
はえぬき 酒田市荻島 5/10移植	本年	24.7	168	5.9	37.1
	前年	26.1	269	6.2	37.8
	平年	25.7	188	5.4	34.3
	平年比	96	89	+0.5	+2.8
つや姫 酒田市漆曾根 5/11移植	本年	28.9	176	5.3	31.1
	前年	28.0	123	4.6	31.3
	平年	27.6	132	4.7	30.9
	平年比	105	133	+0.6	+0.2
雪若丸 酒田市前川 5/8移植	本年	20.1	163	5.4	31.5
	前年	19.4	155	5.5	29.9
	平年	21.6	149	5.3	29.5
	平年比	93	109	+0.1	+2.0

移植後、強風による葉先枯れが全域的に発生しましたが、生育診断圃では分けつの発生が確認されて来ています。2号分けつが出ている圃場、3号分けつがやや欠けている圃場等のバラツキの要因として、植え傷みの有無、浅水管理、水温の日較差を確保できたか等が考えられます。「はえぬき」「つや姫」の葉数はやや進んでいますが、生育は概ね平年並です。

2 今後の気象予報と水管理

1か月予報(6月1日発表)によると、期間の前半は数日の周期で変わる予想です。直近の天気予報も同様となっています。

日中は3cm程度の浅水管理(日中止水)で地水温を高め、夜間灌漑で昼夜の日較差を維持し、分けつの発生を促進しましょう。ただし、強風や低温時は稲体を保護するために深水とします。

土壌還元が進行すると根の生育が阻害され、初期生育に大きく影響します。高温の日が続く場合は速やかに水交換・夜間落水・田干しを行い、分けつの発生と根の健全化を図りましょう。

表 分けつ初期から中期のワキの程度と対策

ワキの程度		生育への影響	対策
水田に足を踏み込むと	わずかに気泡の発生がみられる	なし	—
	気泡の発生が多い	根の活力低下	水交換
	盛んに気泡を発生する	根張り不良	夜間落水
晴天時自然に気泡を発生し、音が聞こえる		根の伸長阻害、地上部黄化	田干し

3 病害虫防除

<葉いもち>

田んぼに放置された取り置き苗は葉いもちの発生源となり、周囲の圃場にも伝染します。まだ補植苗が残っている圃場は早急に処分しましょう。

<斑点米カメムシ類>

病害虫防除所の発生予察情報では、斑点米カメムシ類の発生量は「やや多い」と予想されています。雑草での増殖抑制のため、畦畔・農道等の継続的な雑草対策を徹底しましょう。



写真 問題となるカスミカメムシ類

左：アカヒゲホミドリカスミカメ、

右：アサジガカスミカメ

4 雑草対策 ～残草対策は遅れずに～

昨年は移植後の気温が高く経過し、雑草の生育が早かったことから、除草剤の適用葉齢を過ぎてしまい、残草のある圃場が散見されました。残草対策で除草剤を使用する場合は、必ず薬剤の使用時期や使用方法を確認し、殺草限界になる前に遅れず適切に使用しましょう。

5 農薬は正しく使い、栽培履歴を記録しましょう！

農薬を使用する場合は、ラベルをよく読み、登録内容は必ず守りましょう。また、誤使用防止のため、確認作業は農薬使用直前にもう一度行う習慣をつけましょう。

- ①適用作物
- ②使用量・希釈倍数
- ③使用時期（収穫前日数等）
- ④総使用回数（成分ごと）
等

農薬の飛散防止に努めましょう！

STOP！農作業事故！

春季農作業事故防止運動 展開中！ ～6月10日

これから暑くありません！

体が慣れていないうちは無理をせず、

水分、休息をしっかりととりましょう！

